

令和 7 年第 1 回定例会議案説明資料

1 議案第 2 号 令和 6 年度千葉市一般会計補正予算（第 7 号）中所管

[避難所トイレ環境整備事業]・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

[千葉市みんなが輝くまちづくり基金積立金]・・・・・・・・・・ P 4

[デジタルツインを活用した自動運転車サービス導入支援委託]・・・・ P 5

【議案第2号】

令和6年度千葉市一般会計補正予算（第7号）中所管

〔避難所トイレ環境整備事業〕

補正予算書 P9、30

1 補正理由

令和6年12月に補正予算として成立した内閣府の「新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）」を活用して、マンホールトイレ用パネル上屋及び防災備蓄倉庫を一体として早急に整備するため、一般会計補正及び繰越明許費を設定する。

2 補正予算額

49,500千円

【内訳】

マンホールトイレ用パネル上屋購入 172基 41,000千円

防災備蓄倉庫整備 12棟 8,500千円

【財源】

国費（新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型））

24,750千円

市債（補正予算債）

4,000千円

一般財源

20,750千円

3 事業概要

(1) 事業目的

避難所におけるトイレを衛生的で安全かつプライバシーが確保されたものにするため、マンホールトイレを整備する172箇所の避難所において、1避難所あたり整備される5基のうち1基をパネル上屋にするとともに、当該上屋を含めた資機材を保管する場所が、特に必要となる避難所12箇所に防災備蓄倉庫を整備する。

(2) 事業内容

○ マンホールトイレ用パネル上屋購入

機 能	・悪天候でも使用可能な堅牢性のあるパネル式の上屋 ・段差が無く、車椅子利用者も使用可能なバリアフリー設計 ・施錠可能で、利用者のプライバシーが確保できる ・設置にあたり、専用の工具が不要で組立が簡易
-----	--

工 程	・調達：令和7年5月～7月 入札・契約 7月～9月 各避難所への納品 ・活用：令和7年10月～ 避難所開設訓練や市民向け講座における周知・活用
-----	--

○ 防災備蓄倉庫の整備

機 能	・倉庫（物置タイプ、約3～8㎡） ・引き戸で施錠必須 ・マンホールトイレパネル上屋が収納可能
工 程	・工事 - 令和7年5月～7月：入札（倉庫設置） - 令和7年7月～9月：設置工事準備（現地確認等） - 令和7年9月～12月：設置工事 ・活用 - 令和7年9月～：設置完了した箇所から順次供用開始

パネル上屋



防災備蓄倉庫



【議案第2号】

令和6年度千葉市一般会計補正予算（第7号）中所管

[千葉市みんなが輝くまちづくり基金積立金]

補正予算書 P30

1 補正理由

企業版ふるさと納税による寄附について、「みんなが輝くまちづくり基金」へ積み立てるもの。

2 補正予算額

13,000千円

【財源】

寄附金 13,000千円

<寄附金内訳（令和6年度）>

(単位：円)

寄附金	寄附金額	当年度充当額	基金積立額
令和7年1月末現在（9件）	57,200,000	21,200,000	36,000,000 (R6年度当初予算において措置済)
令和7年2～3月見込み	18,000,000	0	18,000,000 (内訳) R6年度当初予算措置済：5,000,000 R6年度補正予算対応：13,000,000
計	75,200,000	21,200,000	54,000,000

<主な充当予定事業（令和6年度）>

- ・創業支援事業
- ・千葉開府900年事業
- ・千葉市学校外教育バウチャー事業

【議案第2号】

令和6年度千葉市一般会計補正予算（第7号）中所管
[デジタルツインを活用した自動運転車サービス導入支援委託]

補正予算書 P9

1 補正理由

自動運転車サービスの早期社会実装のため、幕張新都心の一部を仮想空間上に再現し、安全性の検証を行うデジタルツインの構築を進めているところであり、仮想空間上で作成した3D地図データの精緻化に必要なデータ変換作業に想定以上の時間を要することが判明したため、今年度の事業完了が困難と見込まれる。

このことから、デジタルツインを活用した自動運転車サービス導入支援委託費について、繰越明許費を設定する。

2 補正予算額

111,300千円

【財源】

国費	55,650千円
繰入金	47,328千円
一般財源	8,322千円

3 事業概要

デジタルツインとは、現実空間の情報を取得し、仮想空間上に同じ環境を再現するテクノロジーのことである。本事業は、幕張新都心の一部を再現した仮想空間上において、夜間など公道では実施が難しい様々な走行シナリオに基づいた安全性の検証を行い、現実空間での走行に反映させるなど相互に実証を重ねることにより、社会実装の早期化を目指すもの。

実施スケジュール（予定）

令和7年3月（第1回定例会終了後）
令和7年6月
令和7年6～7月
令和7年7月末

変更契約締結
3D地図データ精緻化完了
安全性検証結果考察
事業完了